

医療福祉支援センター開設

医療福祉支援センター長 亀山 智樹

平成30年4月より入退院支援室、地域医療連携室、医療福祉相談室を統合し、新たに医療福祉支援センターを開設しました。さらに、病院正面入口横のエントランスホール東側に、入退院支援室の相談コーナーを2部屋新設し、より細やかな支援を行う体制を整えました。

入退院支援室では、入院の予定が決まった患者さんが、入院生活や入院後にどのような治療過程を経るのかを想像・理解でき、安心して入院医療を受けられるように、所属の看護師が、入院中の治療や入院生活の説明を行うことに加え、多職種による栄養状態や服用中の薬などの確認を行います。そのうえで、収集した患者情報にもとづいて入院中の看護や栄養管理などの支援計画を立案します。入院中はこの計画に沿って多職種により治療、看護が行われます。また、安心して退院できるように、退院後の生活や各種サービス利用について、患者さんやご家族の希望も含めて入院前から検討し、調整・支援を行います。

地域医療連携室は、地域のかかりつけの先生からの紹介による外来受診・緊急入院、他の病院からの転院などの窓口となっております。また、住み慣れた地域で継続して生活できるように、患者さんやご家族、担当のケアマネージャーや他施設の方々と協力して、退院支援や転院調整を行います。また、医療福祉相談室と連携して、退院後の生活の場や、介護保険についての相談や説明、退院後の訪問診療、訪問看護などに関する紹介や調整も行っています。

医療福祉支援センターは、済生会富山病院を受診する患者さんが、安心して治療や療養を受け、できるだけ早く住み慣れた地域での健康的な生活を再開できるよう、多くの職種が連携して、入院前から退院後まで様々な面から支援いたします。相談は随時受け付けておりますので、お気軽にご連絡ください。お待ちしております。

